

次期「西淀川区地域福祉計画・地域福祉活動計画」

第4回 策定委員会

令和6年7月10日（水）

午後6時30分～8時30分

区社協3階 第1・2会議室

---

策定委員：6名

助言者：大阪成蹊短期大学 幼児教育学科 鈴木准教授

事務局：区役所 保健福祉課岡地担当係長、保健福祉課大里担当係長

区社協 地域支援担当長谷川係長、長谷川大陽

1 あいさつ

A委員長

2 次期計画の策定について

(1) 外国人・外国籍の方について

・人口：令和3年 約3000人

令和5年 約5000人

→増加率が他区より高い

・外国人・外国籍の流入に対し、前向き・受け入れている人が多い

→西淀川区において、人の流入・流出が多いことが原因か

(2) 犯罪率について

(令和5年 大阪市区別大阪重点犯罪(抜粋)等発生件数【確定値】)

【重点犯罪発生件数】

大阪市： 16.9%

西淀川区： 3.0%

→大阪市平均より発生件数が少ない

(3) その他

・グループホーム・放課後等デイサービスが増加傾向

・「都会やのに田舎」といった雰囲気がある区

・人情のある町

・区内高等学校の活動が盛んである

- ・海風が吹き、涼しく感じる
  - ↳洗濯物が潮の香り
- ・それぞれの地域・学校により香りが異なり面白い
  - 「人も町も風通しが良い」

### 3 あいさつ

鈴木准教授

- ・人情の町の活かし方を掘り下げていきたい